

## 新チーム移行後の活動と試合結果のご報告

箱根駅伝予選会終了後に代替わりとなってから、4ヶ月が経過しました。これまでの4ヶ月の振り返りと今後の抱負について、新チームの中心となっている3年生の前原裕磨と鯉淵温子のコメントをご紹介します。また、昨秋からの記録会において好記録が続出しておりますので、次頁に掲載の試合結果もご覧ください。



### 前原 裕磨（政3・熊谷）

日頃より競走部長距離ブロックの活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。105代長距離ブロック長兼駅伝主将を務めさせていただいております、前原です。

104代から襷を受け継ぎ、早くも約4ヶ月が経ちました。我々105代長距離ブロックは、「先輩方が築き上げた礎を受け継ぎ、更に大きく発展させていく」というテーマのもと、箱根駅伝出場を目指して、さまざまな施策に取り組んで参りました。

具体的には分業機能の活性化や週2回の全体補強、ペアストレッチや練習日誌の記入の義務化などです。

こうした取り組みの結果、選手全員が「箱根駅伝出場」という目標に対して当事者意識を持ち、主体的に競技に取り組むことができています。

箱根駅伝出場までの道のりは決して容易ではありませんが、日々の練習内容を見てもチームの力は着実に成長し続けております。

今後の更なる成長を期待していただくとともに、これからも変わらぬ熱いご声援をよろしくお願いいたします。



### 鯉淵 温子（法3・慶應湘南藤沢）

競走部長距離ブロックの活動にご理解、ご協力を賜りましてありがとうございます。駅伝主務の鯉淵です。

さて、105代目がスタートしてから約4ヶ月が経ちました。予選会後のミーティングでは「チームにとって箱根駅伝が高すぎる目標だった」という声が上がりました。箱根駅伝出場という目標が自分たちの目線に合っていなかったのです。しかし、視野の隅にはあったから、私たちが皆様も盛り上がりました。この盛り上がりの正体は「ワンチャンからくる高揚感」だったような気がします。今年は「絶対からくる緊張感」に変えなくては、あの舞台には立てません。

その準備は少しずつですが進んでいます。去年できなかった練習をこなし、着実なステップアップをしています。一方で、求めるものの高さ故にマイナス思考になってしまうのもまた事実です。

弊部には真面目な選手が多いです。喜びたいけど褒めたいけど、目の前にある課題を見るとそんなことをしている場合かと感じてしまいます。そこを支えてくださっているのは、応援してくださる皆様の温かいお言葉です。これからも皆様からの叱咤激励をいただきながら精進していきたいと思っております。

今年も変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。

## 試合結果（主要成績のみ\*）

### 東海大学長距離競技会（10月24日）

鳥塚 健太	(理1・市立金沢)	5000m	14'26"59	PB
橋谷 祐音	(理1・新潟)	5000m	14'53"09	PB
尼子 夏年	(政1・慶應義塾)	5000m	14'56"02	PB
葛西 直樹	(理1・慶應義塾)	5000m	15'27"10	PB
田口 翔太	(政1・慶應志木)	5000m	15'27"37	PB

### 日本体育大学長距離競技会（11月14日）

安倍 立矩	(理1・厚木)	5000m	14'07"91	PB 関東インカレA標準突破 塾歴代2位
木村 有希	(総1・葵)	5000m	14'12"32	PB 関東インカレB標準突破
森田 剛史	(経3・慶應湘南藤沢)	5000m	14'18"45	関東インカレB標準（再）突破
田島 公太郎	(環1・九州学院)	5000m	14'19"13	PB 関東インカレB標準突破
貝川 裕亮	(環3・美濃加茂)	5000m	14'34"03	PB
葛西 直樹	(理1・慶應義塾)	5000m	15'16"41	PB
菊池 怜示	(経2・國學院)	5000m	15'58"78	PB
森内 拓人	(商1・栄光学園)	5000m	16'03"96	PB

### 日本体育大学長距離競技会（12月4~5日）

森田 剛史	(経3・慶應湘南藤沢)	10000m	29'22"07	PB 関東インカレB標準（再）突破
木村 有希	(総1・葵)	10000m	29'43"85	PB 関東インカレB標準突破
鳥塚 健太	(理1・市立金沢)	10000m	30'47"64	PB
尼子 夏年	(政1・慶應義塾)	10000m	31'14"46	PB
田口 翔太	(政1・慶應志木)	10000m	31'38"95	PB
森内 拓人	(商1・栄光学園)	5000m	15'39"22	PB

### 早稲田大学競技会（12月31日）

森田 剛史	(経3・慶應湘南藤沢)	10000m	29'36"73	関東インカレB標準（再）突破
-------	-------------	--------	----------	----------------

### 別府大分毎日マラソン（2月6日）

前田 拓海	(法4・新潟)	マラソン	36位	2時間21分16秒	塾新
-------	---------	------	-----	-----------	----

\* 今号では、箱根駅伝予選会後の競技会における、PB（自己記録更新）とインカレ標準記録突破分を掲載

## スケジュール

3月	13（日）日本学生ハーフマラソン選手権（立川） 23（木）順天堂大学競技会 26（土）平成国際大学長距離記録会 国土館大学競技会
4月	7（土）東京六大学対抗（未定）

## 慶應箱根駅伝ラッフル 2021-2022 寄付募集中

慶應義塾体育会競走部は、2017年4月より慶應箱根駅伝プロジェクトを始動し、その強化に取り組んでおります。

プロジェクト初年度から関東学生連合に根岸祐太が選出され、2018年1月の本選において復路8区を疾走しました。翌2019年度は司代隼（政4・希望ヶ丘）が関東学生連合のメンバーに選出されましたが、残念ながら補欠に回りました。そして昨年度は杉浦慧（政4・成蹊）が関東学生連合の主将として5区の山登りに挑み、今回は田島公太郎（環1・九州学院）が1年生ながら7区に抜擢されました。

プロジェクト1期生であった杉浦と司代が最終学年を迎えた今年度の予選会は、チームとしての本選出場を狙ってハイペースでの勝負を挑みました。残念ながら本選には届きませんでしたでしたが、その積極果敢な走りは、確かな爪痕を残しました。

スポーツ推薦制度がなく、高校時代は無名だった選手ばかりのチームが、たった数年の間にここまで力をつけることができたのは、ひとえに保科、小野両コーチの指導力と、学生達の熱意や創意工夫の賜物です。慶應の育成力は、いまや学生長距離界において注目を集める存在となっています。

そして、この育成現場を支えるのに不可欠なのが、安定的な強化資金です。慶應箱根駅伝プロジェクトでは、強化資金の確保を目的として、2018年度よりラッフル(※)による寄付金を募集しており、これまでの3年間で総額502万円のご支援を頂きました。無償で景品をご提供頂いた多くの企業・団体・個人の皆様と、ラッフルを通じてご寄付を頂いた方々に、心より御礼申し上げます。

今年度も、**2022年分の強化資金として、慶應箱根駅伝ラッフル2021-2022の寄付受付を行っています。**本プロジェクトの趣旨にご賛同頂ける皆様におかれましては、今年度も引き続き、ラッフルへのご協力をよろしくお願いいたします。

※ ラッフルは「慈善福引」と訳され、欧米では寄付金を募る効果的な手法として、広く活用されています。寄付者へラッフルチケット（福引券）を交付し、慶應箱根駅伝プロジェクトを応援して下さる企業・団体などから無償でご提供頂いた様々な景品の抽選を行い、当選した寄付者へ景品を送付させていただきます。

### 1. ラッフルチケット購入によるご寄付

スマートフォンやPC上の簡単な操作で、慶應箱根駅伝プロジェクトの公式サイトからご寄付頂けます。



「慶應 箱根」で検索  
<https://hakone-pj.keio-tf.org/>

「プロジェクトを支援する」をクリック

寄付の口数を入力して  
「寄付する」をクリック

クレジットカード  
またはAmazon Payで  
寄付完了

## 2. ラッフルへの景品のご提供

今年度の景品のご提供の受付は終了とさせていただきます。多くの皆様にご協力を頂きまして、心より厚く御礼申し上げます。

来年度の景品のご提供をご検討頂ける場合には、以下の慶應箱根駅伝プロジェクト事務局のメールアドレスにご連絡ください。

[hakone\\_raffle@keio-tf.org](mailto:hakone_raffle@keio-tf.org)

## 3. スケジュール（予定）

強化資金ご寄付の受付期間： 2021年8月15日 ～ 2022年3月31日

ラッフル景品ご提供の受付期間： 2021年9月15日 ～ 2022年1月31日

当選発表時期： 2022年4月予定

景品発送時期： 2022年4月予定

## 4. その他

景品をご提供頂いた企業・団体・個人様につきましては、慶應箱根駅伝プロジェクト公式サイトの特設ページにおいて、ご提供者名、ご提供物品の名称・紹介文を掲載させていただきます。

景品のご提供にあたり、当方への送料はご負担いただきますようお願い申し上げます（当方より当選者への送料は当方にて負担させていただきます）。